

## 第1部

『歯科技工の現状と未来 ～デジタルトランスフォーメーション(DX)が進みつつある時代の中で～』

抄録：

歯科界におけるCAD/CAM化の進行と広がりが劇的に進んでいますが、AI（人工知能）・ロボットをはじめとする一般社会のIT化（デジタル化）には驚くべきものがあります。

また、このIT化による文化の変化（評価社会化・フリクションレス化）も進んでいます。

歯科界は特殊な狭い社会といえども、一般社会の変革は当然、受けることになりますので、知らずに済ませる、というわけにはいきません。

そして、AIによって歯科技工という職業がなくなるのではないかと、という不安を持っている人もいますかと思いますが、まずは現状を知ることが必要だと思います。

## 第2部

『これからは、CADデザインが重要になる』

抄録：

歯科技工のCAD/CAM化が今までと異なるのは、設備投資額が高額であること、そして毎年維持費あるいはライセンス料、ソフトウェアのアップデート料が掛かることです。

高額な設備（機器）も数年で新機種への買い替えが迫られます。

これらを踏まえ、また「働き方改革」も考慮すると、業務の効率化・高利益率化は必須のことです。

また、ジルコニアの製作において築盛が減ってステイン法が増えており、シタリング後の修整が少なくなるような正確なデザインが求められてきます。

つまり、「CADができる」が特別ではなく、「CADが速くてうまい」がアドバンテージ（優位性）になります。

当セミナーにおいて、現在の、私のCADデザインのやり方・考え方をデモでお見せします。